

鈴鹿のあしあと No.4

三重県埋蔵文化財センター

〒515 - 0325 三重県多気郡明和町竹川 503
TEL 0596 - 52 - 1732 FAX 0596 - 52 - 7035
<http://www.bunka.pref.mie.lg.jp/maibun/>

2014年7月

三重県埋蔵文化財センター調査研究3課 四日市整理所
〒512 - 8064 三重県四日市市伊坂町 126 - 1
TEL 059 - 363 - 3195 FAX 059 - 363 - 3196

こやしろ

小社遺跡の発掘調査(第3次)を行っています!

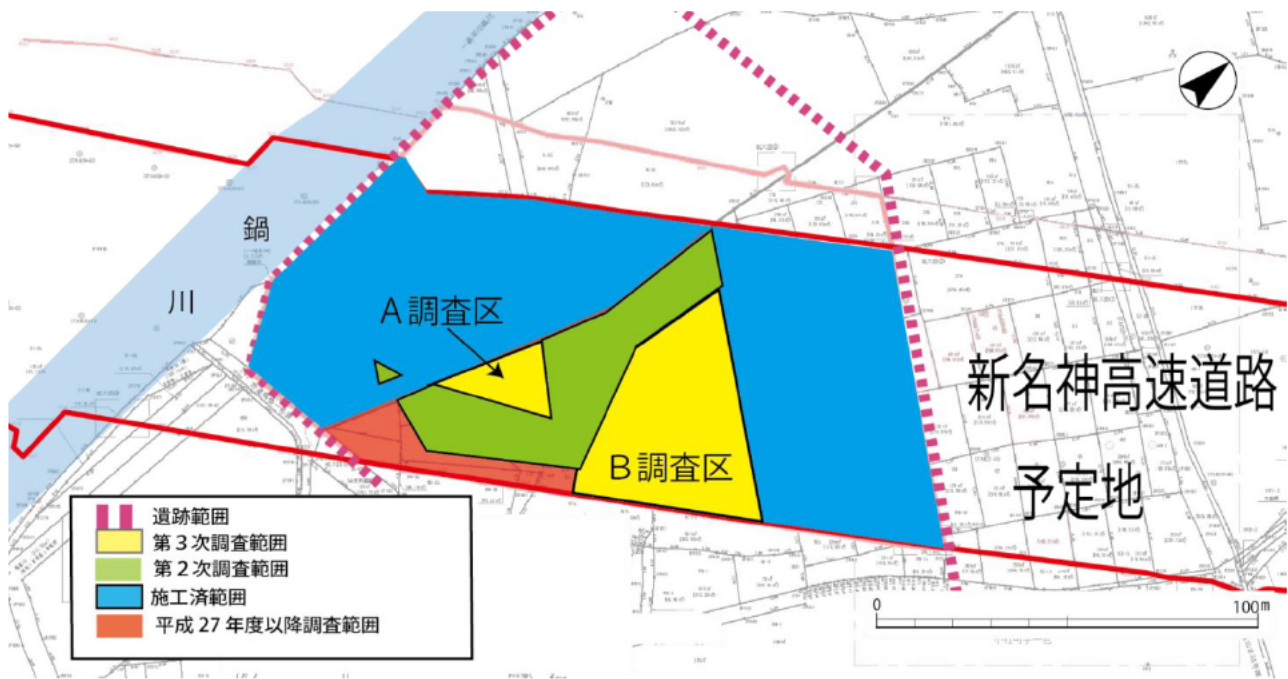


発掘調査の様子

小社遺跡は、鈴鹿市小社町に所在し、鍋川^{なべ}左岸の扇状地上に立地します。鍋川をはさんだ南西には、鎌倉時代を中心とした集落の釜垣内^{かまがいと}遺跡があります。

当遺跡の調査は、平成23年度から始まり、24年度、26年度(現在調査中)の3回行ってきました。23年度の調査では、溝状のトレンチを設定して遺跡の広がる範囲などを決めました。24年度の第2次調査では、中世後期～近世中期(室町時代～江戸時代中頃)にかけての、生活のあとを確認しました。26年度の第3次調査では、中世の墓や、石列などを発見しました。

それでは、「いにしえの小社」の人々はどのような生活をしていたのでしょうか?少しのぞいてみましょう。



小社遺跡 調査区配置図(1:2000)

平成24年度（第2次調査）の成果

1,500 m²を発掘調査しました。その結果、調査区中央で、方形土坑を1基確認しました。土坑の内部は、大量の礫が崩落した状態で出土しました。出土遺物としては、土師器（皿・鍋）、陶器（古瀬戸四耳壺、常滑焼甕）等があり、中世（室町時代）の遺構と考えられます。その他の遺構では、17世紀初頭～18世紀中葉のものがあり、土坑13基、溝5基を確認しました。また、調査区外で一石五輪塔を1基発見しました。



SK14 方形土坑(北西から)



一石五輪塔(西から)



A調査区 石列ア(西から)



A調査区 石列イ(東から)



B調査区 中世の墓 南東から



発掘作業風景

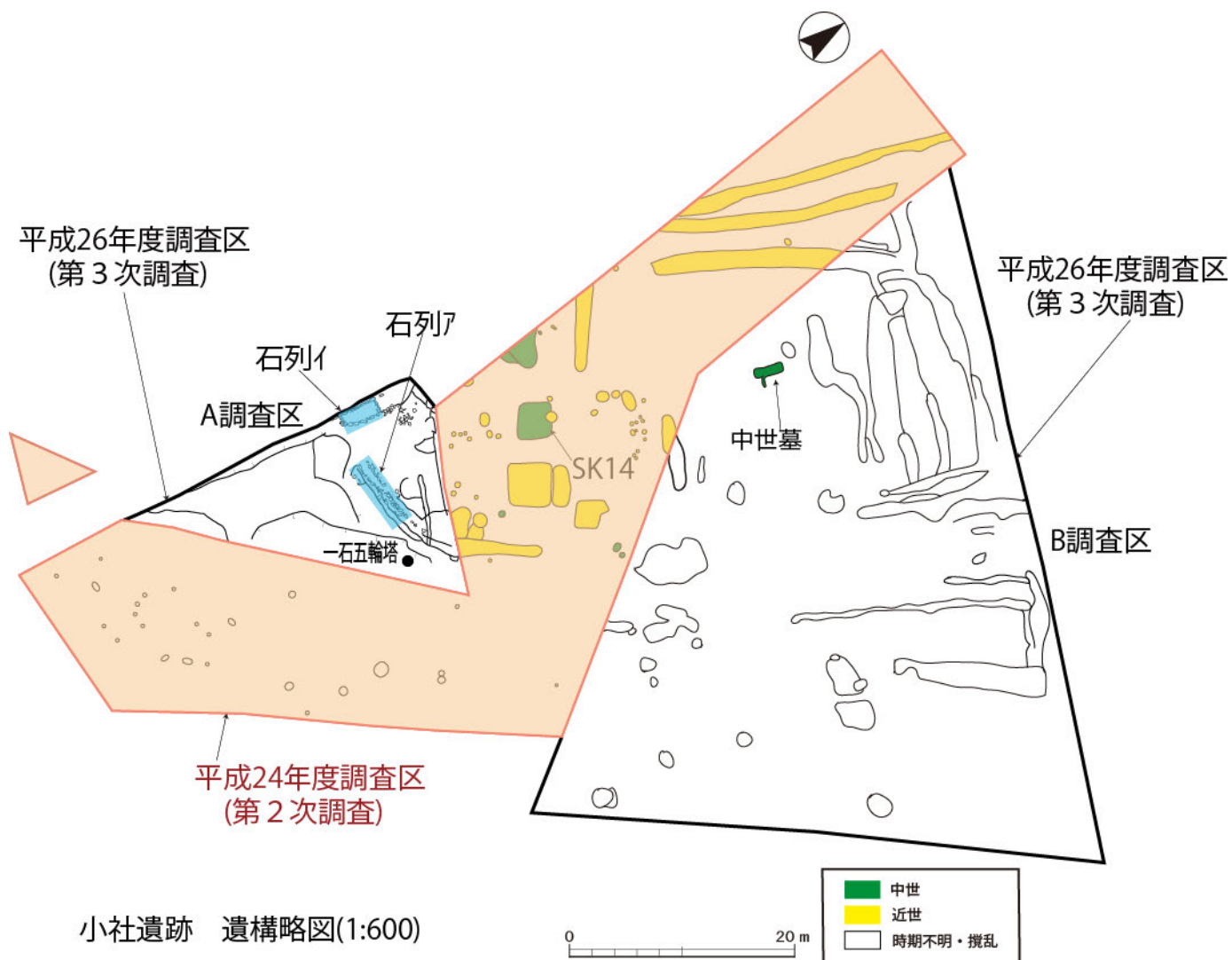
平成26年度（第3次調査）の成果

A調査区

200 m²の発掘調査をしています。その結果、石列等を確認しました。また、出土した遺物は、中世から近世にかけての土師器（皿）、陶器等がありました。

B調査区

1,800 m²を発掘調査をしています。現在、溝、中世の墓、土坑、ピット等の遺構を確認しています。出土遺物としては、土師器（羽釜、皿）、陶器（すり鉢、甕、壺、椀、皿）があります。



小社遺跡 遺構略図(1:600)

おわりに

3年間の調査成果をまとめてみることにします。

室町時代の墓を1基確認しましたが、建物跡などは、はっきりとはしません。ただし、羽釜・すり鉢・甕・皿などといった日用品が多く出土したことから、その頃の集落の一端を垣間見ることができました。

また、江戸時代の頃と思われる石列も確認しました。その性格としては、段々状の土地の土留めとして利用していたのかもしれませんが。

最後に、地元の方のご協力と、関係の方々のご協力のおかげで、順調に調査が進みました。関係の方々へ感謝するとともに、今後ともご理解とご協力のほど、よろしくお願いいたします。

遺跡名・所在地：小社遺跡 鈴鹿市小社町

原因事業：新名神高速道路建設事業

期間・面積：平成26年4月18日～8月12日(予定・2,000 m²)

調査委託：中日本高速道路株式会社名古屋支社四日市工事事務所

調査主体：三重県教育委員会

調査担当：三重県埋蔵文化財センター調査研究3課